

会議録

令和5年5月17日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和4年度第9回定例会
開催日時	令和5年2月15日(水) 18時30分から20時10分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	<p>委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、三沢英俊、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正</p> <p>職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、國府方館長補佐(芝久保分館長) 三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査</p>
欠席者	中嶋太
議題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度第7回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>(2) 令和4年度第8回定例会会議録(案)について</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 令和4年度公民館主催事業報告について(資料2)</p> <p>(2) 令和5年度主催事業計画について</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告</p> <p>(3) 西東京市教育計画策定懇談会会議報告</p> <p>(4) 東京都公民館研究大会報告</p> <p>4 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 令和4年度第10回定例会の開催について</p> <p>(2) 令和4年度第2回利用者懇談会について</p> <p>(3) その他</p>
会議資料の名称	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 令和4年度第7回定例会会議録(案)</p> <p>資料2 令和4年度公民館主催事業報告書</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(1名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度第7回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>●令和4年度第7回定例会会議録(案)について承認</p> <p>(2) 令和4年度第8回定例会会議録(案)について</p> <p>●令和4年度第8回定例会会議録(案)については、各自確認をし、1週間以内をめどに修正意見を公民館に送ることとする。</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 令和4年度公民館主催事業報告について(資料2)</p> <p>○A委員</p> <p>学齢期の子どもがいる人のための講座「子どもたちのココロとからだを育む「性と生」親子のおはなし」(柳沢)について。参加者は全て女性だったのか。もし男性の参加希望があった場合どう対応するか。</p> <p>○事業係長</p> <p>全員女性。今回は女性がターゲットだった。来年度どうやって対象を広げるか検討する。</p>

- B委員
学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)について。受付方法の「Logo フォーム」とは何か。
- 事業係長
Logo フォームは全国の自治体が導入しているシステムで、最近西東京市も導入した。本講座では電話、メールと共に受け付け方法としたところ全員が「Logo フォーム」での申し込みだった。
- 公民館長
QRコードを読み込むと申し込みフォームが表示される。メールより簡単。このフォームを利用してアンケートを依頼することもできる。
- 事業係長
データをもとに、例えば、町別の参加者数のグラフを作成することができる。スマートフォンでQRコードを読み込むと入力画面が表示される。高齢者にも活用してほしい。
- B委員
学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)は興味深い講座。思春期に向かう小学生を持つ親にとっては関心のある講座だと思う。私が子育てをしていた30年程前、学校は人権を根底に置きつつ命について学ぶ場として、積極的に性教育に取り組んでいて、親も学ぶ機会があった。当時の親はわかっていなかったし、性を隠しがちだった。この講座は親が学ぶことができる貴重な機会だと思う。現在、学校では性教育にどのように取り組んでいるか。
- C委員
中学校では保健体育の授業で行っている。男女同室で行うか、分けて行くかなど、内容は教員による。
- B委員
このような講座をぜひ先生たちにも受けてほしい。
- D委員
学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)は、定員20人に対し、延べ58人の参加があった。3回の連続講座だが、3回連続して参加した人は少なかったのか。担当者の考察欄に「低学年の保護者の場合、乳幼児がいて保育付きでないと参加できないなどの声もあり」とあるが、今後、保育の実施も含め工夫するのか。連続参加が難しかった主な原因は多忙な世代であることと、乳幼児がいることか。
- 事業係長
アンケートでも分かるように満足度の高い講座だった。しかし主な対象である小学生の子を持つ親、とりわけ低学年の子を持つ親にとって、3回全てに参加することは難しかった。保育に関しては講座担当者と保育担当者と課題を共有して考えていきたい。
- D委員
この講座は、講師が参加者と同世代なのも良いと思う。継続してほしい。
- E委員
学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)について。LGBTQについては取り上げたのか。
- 事業係長
そのことに特化した話はなかった。
- E委員
LGBTQは、70年代に後退した性教育が今また復活していくにあたり取り上げられるべき内容ではないか。親子では一番話しにくい内容。今回の講座はオーソドックスな性教育だったのか。このテーマについて、今後どのように講座で触れていくのか。
- 事業係長
「性教育だけを切り取って考えることはやめよう」という講座だった。排泄など、体の仕組みとして伝えられていると、年齢が上がってきて性のことに切り替わっても自然に伝えられる。「性教育」というよりは「体の仕組みを知り、日ごろから伝えよう」というような子育ての本質を学ぶ講座だった。「性教育をしなくては」というプレッシャーから解放され、人間の本質を学

んだ。LGBTQについて触れてはいないが、人間の本質という部分で共通なことを学んだ。来年度については検討する。

○E委員

平和を考える講座「この町にも戦争があった」(芝久保)について。前回の定例会の時、柳沢公民館ロビーで市民団体による西東京市における戦争についての展示があったが、展示を行ったグループとの情報交流はあったか。

○分館長(芝久保)

講座の前に1週間ほど西東京市における空襲についての資料を展示し周知を図った。西東京市にあった空襲について、目で見て感じて、フィールドワークをしながら多くの戦跡をたどった。

○B委員

平和を考える講座(芝久保)について。1回限りの講座だが、もう少し深めても良かったと思う。柳沢公民館ロビーでの展示は緻密な情報も残されているのだと感じ、素晴らしいと思った。このような地域で研究している人を巻き込んだような平和講座があって然るべきだと思う。

○分館長(芝久保)

芝久保公民館では長きに渡り平和を考える講座を行ってきた。公民館では「まちなか先生」で西東京市に実際にあった空襲等について学ぶ平和講座を行っている。学校で教わることは「第二次世界大戦」など大枠のこと。まさに自分たちが住んでいるところにこのような戦争の被害があったのかと驚く子どもが多い。地域で暮らしている一般市民がどのような被害に遭ったのか、なぜ西東京市が狙われたのか、まちなか先生で学んだところ。令和5年度西東京市の大きなテーマは「平和」。いただいたご意見を、今後の平和を考える講座で検討していきたい。

○D委員

平和を考える講座(芝久保)の対象は全世代か。10代から80代と幅広い参加者層である。60代、70代の参加者が多いが、親子参加も大事。若い世代にこそ平和を学んでほしい。

○分館長(芝久保)

成人対象だが、家族参加もあった。令和5年度については近隣小・中学校に声をかけながら家族で参加できる工夫をしたいと思っている。

○E委員

旧保谷市の公民館では、保谷市で起きた戦争の事実を市民スタッフと共に聞き取りをし、それを公民館だよりに掲載していた。住民主体で行われてきた西東京市での戦争についての掘り起こしや聞き取り調査の蓄積が活かされる企画、次の世代につながる企画があるとよい。

(2) 令和5年度公民館主催事業計画について

●事業係長より説明

○G委員

「サークル見学月間」「曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会」(田無)について。令和4年度に実施して評判が良かったと聞いているが、どのように行い、どのような評価があったか。

平和を考える講座(芝久保)について。講座の後、受講者が「まちなか先生」の平和講座に参加あるいは見学をしてはどうか。大人も一緒に考える機会があってもいいと思った。

夏休み青少年ウィーク(谷戸)について。先日柳沢中学校でワークショップがあり、中学生に「20年後どんな学校になってほしいか」と尋ねたところ「高校生や大学生が勉強を教えてくれる学校」という回答があった。先生とは別の身近な人から学びたいという希望があるようなので期待できる。

教養講座(ひばりが丘)について。ひばりが丘公民館は図書館を併設していないので、例えば文学講座などを視野に入れても良いのでは。若者など本を通じての出会いもあるようだ。

あつまれ!みんなのけいおん講座(保谷駅前)について。不登校の方が来ている。地域にこういう場があるのは素晴らしいこと。ぜひ継続してほしい。

○分館長(田無)

「サークル見学月間」は今年度も7月、11月に開催した。7月、11月に部屋を使う予定のサークルに見学可能かどうかを確認し、可能なサークルの一覧表をホームページなどに掲載し、見

学希望の方に申し込んでもらった。7月、11月共に40団体くらいの参加があった。

「曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会」について。曜日別団体ごとにロビーで約30分程度活動紹介や体験をしてもらった。2月26日に日曜日活動の団体の見学体験会がある。月曜日から日曜日まで7回実施。32団体が参加。報告会でも「コロナで発表の場がなかったがこういう場を持てて良かった。入会につながった。様々なジャンルの団体が参加しておりぜひ続けてほしい」とのことであった。

○H委員

「田無公民館まつり」について。1999年から1週間にわたり自由に体験できる「サークル交流会」を行っていた。参加者数が減ってきたことから2006年に第8回で終了。2007年からは「南町スポーツ・文化交流センター・きらっと」も使うなどして、2日間のまつりをずっと行ってきた。令和4年度は前年度の9月から月に1回程度準備会を行って開催した。6月11日のまとめの会で意見交換を行った結果をどのように理解して、令和5年度は中止するという判断をしたのかについて、令和4年度田無公民館まつりの参加団体には報告するべき。まとめの会の報告書の提出と予定していたアンケートの実施は未だ行われていない。また、原稿を送ったが、まつりの記録誌は出してくれるのか。地域交流事業を、まつりから現在の形に変えることの原因を知りたい。原因を文書にまとめ、令和4年度田無公民館まつり実行委員に配付してほしい。

○分館長（田無）

まとめの会の報告書を提出し、記録誌を作成する。アンケートも実施する。また、まつりから現在の形に変えることの原因を文書にまとめ、令和4年度田無公民館まつり実行委員に配付する。

○G委員

社会教育委員の会議でも公民館まつりは評価が高い。市民の関心も高い。前回の実行委員が納得していないのであれば話を再度すりあわせることが必要。

○I委員

谷戸公民館は学生が参加する講座が多い。「教養講座 高校生が考えた親に教えた講座を実施する」は高校生が先生になるのか。高校生が教えたことに詳しい講師が来るのか。

○分館長（谷戸）

「高校生が親に分かってほしいこと」を取り上げる講座。大人に日頃言われていることを高校生はどう受け止めているのか。高校生が話すか、講師を連れてくるかこれから企画する。

○D委員

高校生に話を聞くのか。聞いたことを親に伝えるのか。親が対象で高校生は来ないのか。

○分館長（谷戸）

「夏休み青少年ウィーク」の協力者が主にかかわることになるのではないと思う。具体的計画はこれから。今年度「中学生が企画！小学生向け防災講座」を実施し、中学生の発想や積極性はすばらしいと思い、今度は高校生を巻き込もうと考えた。

○E委員

令和5年度新規講座を説明してほしい。

○事業係長

柳沢公民館の新規講座は2つある。「BOSAIカフェ」は、今年度、昨年度の地域防災講座の振り返りの会の話し合いの中で発案され、実施したが、参加者が企画・運営して地域の中で防止について語り合い、学び合う場として、令和5年度は事業計画に位置づけた。「サークル公開講座」について。サークルと共催で日頃の活動を活かした講座を実施する。

ひばりが丘公民館については新規事業はない。教養講座の内容は先ほどの意見を参考にする。

○分館長（田無）

令和4年度に新しいものをいくつか始めたので、令和5年度新規事業はない。

○分館長（芝久保）

新規事業は2つ。「高齢者の課題を考える講座」は、地域の課題をもとに、芝久保公民館を拠点にできることを考える。「サークル体験会」は、新しい利用者を求めて、これまで行ってきた「ちいさな展示会」に代わるものとして計画している。

○分館長（谷戸）

「夏休み青少年ウィーク」「教養講座」「子ども対象講座（睡眠）」「親子で楽しむ講座（セミの羽化観察）」「コンサート」を「サマーフェスティバル」という形でPRする予定。「コンサート」については平和をテーマに8月6日、9日あたりに実施したいと思っている。地域交流事業は谷戸まつりだけだったが「健康サークル共催イベント」や「地域の人の展示会」を行う。

○分館長（保谷駅前）

ほぼ令和4年度と同じ。「防災講座」では、ローリングストック食材で作る簡単でおいしい防災食を学ぶ。

○B委員

柳沢公民館利用者懇談会で「ロビーコンサート」という声があったが復活の可能性は。

○事業係主査

柳沢公民館ロビーは窓がなく換気ができないので、令和元年度末に休館した時に中止して以来、「ロビーコンサート」は実施していない。新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、難しいと思う。ロビーコンサートに参加できない代わりにヤギフェスに参加したところもある。

○A委員

高齢者の課題を考える講座（芝久保）について。「高齢社会の課題」＝「高齢者の課題」ではなく「高齢社会を生きる子どもの課題」でもあるので幅広い世代が高齢社会を一緒に考えることが大事。若い人の問題が抜けて高齢者の問題となってしまうことがあるので、「人ごとではない、高齢者問題は若い人の問題である」という視点で取り組んでほしい。谷戸公民館は8月は中高生対象月間となりそう。PRを頑張ってもらいたい。若い人の厳しい視点から親の生き方を問い直すようなことも含めていろいろなことが展開される可能性がある。

○分館長（芝久保）

まだ形にはなっていない。この講座から何か立ち上がる、地域の小学生、親も呼び込めるような仕掛けができたらいいなと話している。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

令和5年第1回定例会（議会）が2月24日から始まる。予算特別委員会にて令和5年度の予算審議を行う。公民館では来年度空調、LED改修を要求している。空調は柳沢、芝久保、谷戸、ひばりが丘の4館、LEDは田無公民館を除く5館で要求。田無公民館は耐震改修工事すでに実施済み。西東京市は「ゼロカーボンシティ宣言」をしているので、そこの関連もある。ひばりが丘公民館のトイレの洋式化も要求。柳沢公民館の電気陶芸窯も要求。令和6年度は芝久保公民館を考えている。空調改修は大きな工事。公民館閉館ではなく部屋ごとに順番に改修する予定。

コロナ対策による定員緩和について。1月27日に東京都本部で利用緩和があった。5,000人以内のホールであれば、大声を出す活動も今まで定員の50%ではなく、100%可能になった。手指消毒、三密を避ける、マスク着用は今まで通り。2月13日西東京市コロナ対策本部があり準拠していこうと変更した。公民館も準じて方向転換した。3月13日以降国はマスク着用を個人の判断に委ねる方針。5月8日以降も大きな変化がありそう。今後も情報提供していく。

谷戸公民館階段壁面タイルが剥離した。谷戸2,400枚のタイルを全て剥がし塗装する。同じタイプの壁面を持つ芝久保公民館も実施する。3月に入ってから約3週間工事の予定。利用団体には工事を行う旨連絡する。公民館は休館しない。安全第1で作業する。

(2) 公民館だより編集室報告

●担当委員より2月6日開催の公民館だより編集室会議について報告。

(3) 西東京市教育計画策定懇談会題5回会議報告

●担当委員より令和5年2月13日開催の西東京市教育計画策定懇談会題5回会議について報告。

(4) 東京都公民館研究大会報告

●東京都公民館連絡協議会委員部会担当職員より第 59 回東京都公民館研究大会基調講演、第四課題別集会について報告。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和 4 年度第 10 回定例会の開催について

日時：令和 5 年 3 月 15 日（水） 午後 6 時 30 分 場所：柳沢公民館視聴覚室

(2) 令和 4 年度第 2 回利用者懇談会について

(3) その他